

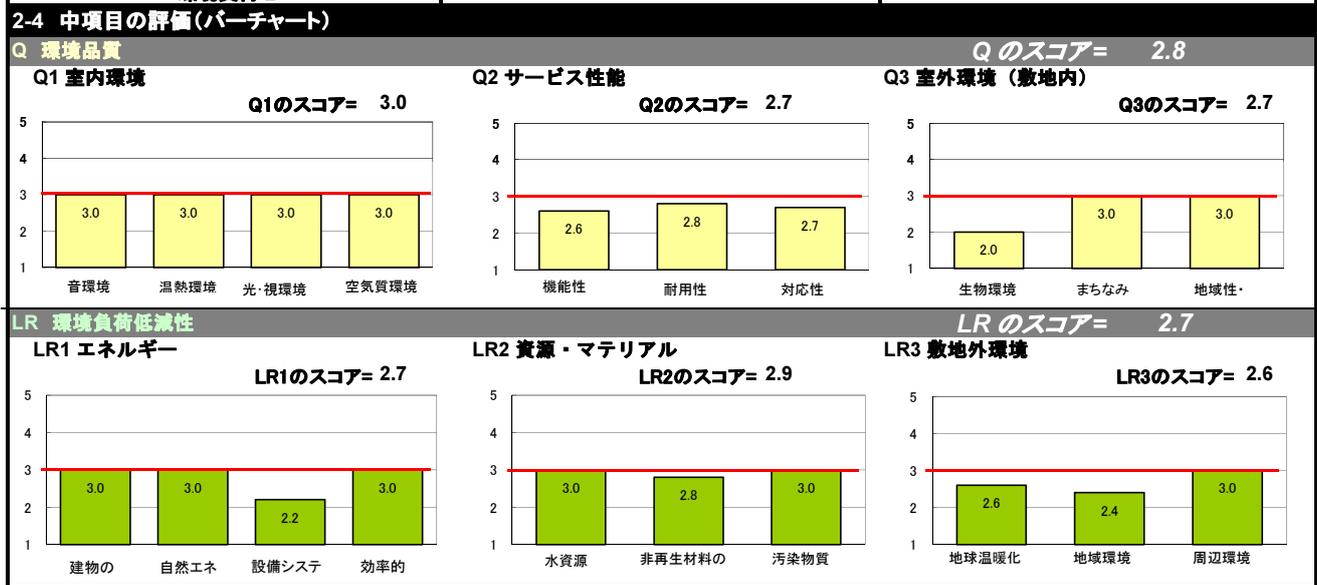
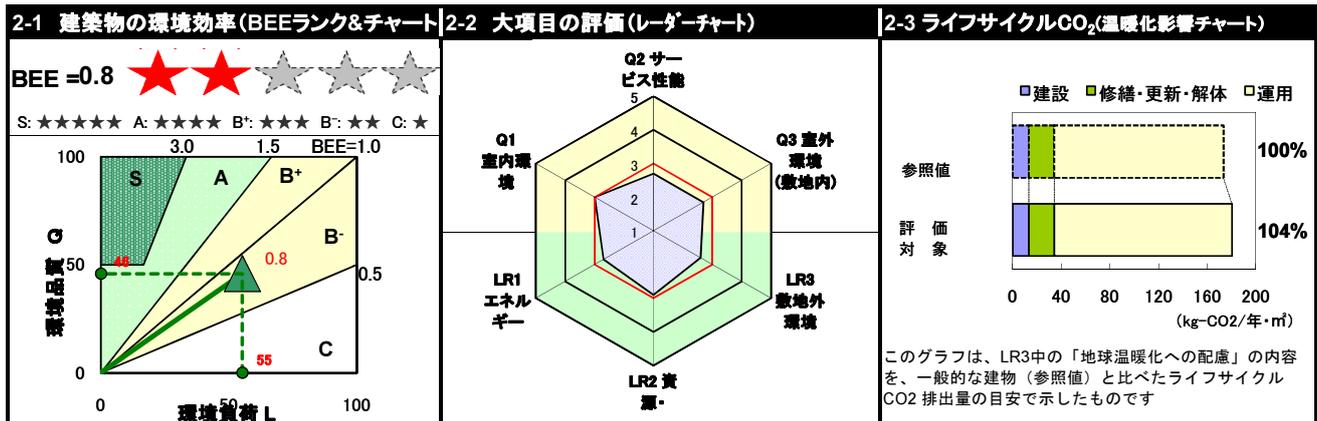
CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)第二洛東園	階数	地下1F 地上4F
建設地	京都府京都市東山区渋谷通本町東	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域・準防火地域	平均居住人員	110 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年1月 予定	評価の実施日	2010年3月1日
敷地面積	1,915 m ²	作成者	
建築面積	1,121 m ²	確認日	2010年3月 日
延床面積	3,786 m ²	確認者	〇〇〇

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 配慮した意匠、環境及び入所者に対する配慮を考慮した建物の計画		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 集中制御とし建物全体で監視を行う	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 民に一部部屋を提供し利用してもらう 前面道路部分を一部開放し通行等の配慮を行う	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 省エネルギータイプの製品の採用	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 地球温暖化防止に配慮し敷地内の緑化に極力勤める	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 近隣住民に対し臭い及び騒音等の配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される